

## 平成27年度 第2回 豊田市地域経営懇話会 会議録

【日時】平成27年12月17日(木)午後2時～午後4時20分

【場所】豊田市役所南庁舎5階 南52会議室

【出席者】(委員) 青木 利元 (稲武地域会議)  
安藤 茂 (豊田市高齢者クラブ連合会)  
酒井 保彦 (豊田市区長会)  
澤田 恵美子 (豊田市消費者グループ連絡会)  
柴田 久尚 (豊田市青年会議所)  
杉浦 幸枝 (豊田市国際交流協会  
ボランティアグループほづみ会)  
田中 すい子 (豊田市ボランティア連絡協議会)  
田端 稔 (豊田商工会議所)《副会長》  
林 文生 (豊田市PTA連絡協議会)  
三崎 祐子 (豊田市ファミリー・サービス・クラブ)  
湊 裕 (連合愛知 豊田地域協議会)  
村野 政章 (公募委員)  
村林 聖子 (愛知学泉大学現代マネジメント学部准教授)  
山中 敏弘 (あいち豊田農業協同組合)

(計14人)

【欠席者】(委員) 宇佐美 英理子 (学生によるまちづくりの会)  
津村 美紀 (公募委員)  
西原 香保里 (愛知みずほ大学短期大学部教授)  
山崎 丈夫 (愛知学泉大学附属研究所客員研究員  
・元教授)《会長》

【事務局】 須藤 寿也 (総務部長)  
藤本 聡 (総務部副部長)  
竹内 寧 (総務部行政改革推進課 課長)  
塚田 良 (総務部行政改革推進課 副課長)  
松本 一輝 (総務部行政改革推進課 主査)  
永田 知恵 (総務部行政改革推進課 主査)

【次第】 1 開会  
2 副会長あいさつ  
3 新委員の紹介  
4 議事  
(1) 市長との意見交換  
(2) (仮) 第2次地域経営戦略プランの策定について【協議】  
(3) 「WE LOVE とよた」の取組の条例化について【協議】

---

(文責は事務局。訂正することがあります。)

### 【副会長あいさつ】

・豊田市を取り巻く環境も大きく変わってまいりまして、その中で、これからの豊田市の経営戦略がどうあるべきかが問われています。建設的なご意見をお願いいたします。

### 【新委員の紹介】

#### ○委員

・主に学校関係・保護者・生徒と接する機会が多くあります。この機会を通じてそんな方たちに豊田市がどんな計画で活動をしているのかわかりやすく伝え、活動に巻き込んでいくのが役目だと思っています。私自身が内容を理解し、説明ができるように勉強していきたいと思います。

### 【議事（1）】豊田市長との意見交換

#### ○市長

・お忙しい中お集まりいただきありがとうございます。現在、国では税制改正や来年度予算に向けた動きが本格化しています。本日、部長と特別職の会議の中で税制改正が豊田市に将来どのような影響を及ぼすか、という情報共有を行いました。法人実効税率の低下、一部国税化が加速し、将来の豊田市は歳入は厳しい方向へ向かっています。一方で2027年中央リニア開通をにらんで、豊田市が個性と活力を持った町へ向かわないと中部圏の魅力につながらない、という豊田市の役割もあります。また、高齢社会を迎えるに当たって、市民のみなさんがより暮らしやすい環境づくり等財政需要はさらに増す状況の中でどのようにやっていくかが問題となります。今日の議題にある地域経営戦略プランの中で掲げる行動のひとつひとつが今後の豊田市の将来にとって重要になっていきますので、忌憚のないご意見をお願いします。

・WE LOVE とよたの条例については、他自治体の地酒で乾杯条例のような地産地消の考え方も含んでいます。豊田市が将来の困難を乗り越えるためのパワーの源は市民のみなさんの郷土に対する愛着であると思っていますので、そこが欠けると、利便性、損得の価値観だけで振り回されてしまうのではないかと危惧しています。その点をどのように押さえていくのかを事務局から申し伝えますので、ご意見を伺いたいと思います。今日はよろしくお願いします。

#### ○委員

・おひとり2分程度ご意見頂戴します。

#### ○委員

・地域を愛する心を根付かせるために、市長には積極的に地域に出向いて意見を吸い上げてほしいと思っています。

・地元の特別養護老人ホームで働く人が不足しており、来年から外国人を採用していくのですが、言葉の問題と住宅不足が問題となっています。空き家バンク等の住宅に関する補助制度がありますが、空き家自体の状態がよくありません。これから外国人の受け入れから教育まで市の支援をいただけないかと思っています。

○委員

- ・市としてどこまでできて、できないかを地域に示すことで、地域が何をできるかの意識を高めるきっかけになります。そういう意味で、市としてできることとできないことを示す力強さを豊田市には持ってほしいと思います。市と地域との線引きをお互いに共有することで何か新しいものが見えてくるのではないかと思います。

○委員

- ・エネルギー自給の先進事例を作っていただきたいと思います。また、農福連携（※）の分野では愛知県、豊田市は他県と比べて遅れていますので、取り組んでいただけるといいと思います。障がい者が税金を払えるような活動の場を上手に作ってけると非常にいいと思います。

※農福連携とは、農業者やJA等の農業従事者と社会福祉法人やNPO法人等の福祉従事者が連携することで、農業分野で障がい者の働く場所づくりや居場所づくりを実現しようとする取組の総称のこと

○委員

- ・結婚せずに生涯を終える方が増えています。そのような問題を解決していこうとする中で、当人たちにヒアリングをすると、出会う機会がなかったという答えが返ってきます。民間でできる出会いの場を設けることも考えていますが、近隣地域も含めて出会いの場を考えていかななくてはいけないと思っています。
- ・子どもを出産したのち、定住先として市外を選択しているのが気になっています。豊田市で定住していただくことが大切だと思っておりますので、税制優遇策や3世代同居への対応などで解決できる部分もあると思いますので、検討をいただきたい。
- ・最後になりますが、豊田市職員の労働負荷が問題になっています。市職員だけでなく、教員も市の施策によって影響があり、思い切って仕事をスクラップすることをお願いしたいと思います。

○委員

- ・先日「災害で亡くした小さな命展」を見てきました。ペットを連れて避難したところ、避難所でペット連れの避難を拒否されたり、ペットを外につなぐなら、という条件付きの対応がされていたそうです。2013年環境省から災害時ペット同行避難が原則という指針がなされ、各自治体に対応がまかされているようですが、豊田市の取組についてお聞きしたいと思います。

○委員

- ・管轄内の学校ではスマホ・携帯の問題が起きないようにしていきたいのですが、伝わってほしいところになかなか伝わらないというのが現状です。豊田市からもアピールしていただきたいと思います。

○委員

- ・スタジアムと豊田大橋のことが気になります。白川公園跡地に3万人のスタジアムができるとのことですが、豊田スタジアムの位置づけはどうなるのでしょうか。また維持費がかさんでいるようですが、財政難を踏まえて再度検討してほしいと思います。また、

豊田大橋はあれだけの予算を使って建設し、なぜ、修理ばかりしているのでしょうか。最後に、福祉センターの交流コーナーの再検討があるようです。行政は数字で図るだけでなく、そこで人が感じている楽しさも汲み取ってほしいと思います。

○委員

- ・ 広報を見ていると、民生やボランティア団体とは連携できているようですが、個人で参加がしにくいと感じています。また、若年性の認知症のサポートも検討されるといいと思います。

○委員

- ・ 地域の誇りの醸成ということでイベントを行った時に、30～40歳の約200名にアンケートを取ったところ、7割が町の歴史を知りませんでした。子どもたちに豊田市がどういう歴史で育まれてきたのか伝えることが大切だと思います。
- ・ ラグビーW杯に向けて世界中に豊田市をどのようにPRするのでしょうか。観光客が訪れても豊田市に滞在せず、名古屋に流れてしまうことが予想されるのですが、どのように取り組まれますか。
- ・ 製造業以外の人材が非常に不足していますが、これから高齢化社会に向けて外国人の採用が必要となってきますので、行政としてバックアップしていただけると非常にありがたいと思います。

○委員

- ・ ごみを削減することやWE LOVEとよたの言葉は理解できていると思いますが、ふたつが行動に結びついていないと思います。
- ・ 豊田の地域資源が目に見えていないので、消費者にとって豊田産がもっと目に見えていくようにできないかを感じています。PRも人の集まりやすい南の方で行うと効果的なのではないでしょうか。
- ・ 学校の給食で紙パックをはずしてできるトイレットペーパー「モーいちど」は、市民に浸透していません。使ってもらえないと価格が高くなったり、店頭には並ばなくなります。子どもたちがはずした紙パックからできている、というような宣伝もしていただけるといいと思います。

○委員

- ・ 市長代理の支所長や担当長は人によって対応が大きく変わります。地域会議やわくわく事業などへの市長の想いが支所長や担当長にしっかり伝わっていますか。
- ・ 地域会議の会長の任期4年が限度ですが、物足りないと感じています。地域会議の会長は2年延期を認めていただけると地域としても動きやすいと思います。

○委員

- ・ 高齢者クラブの活動の中で健康寿命を延ばす活動は非常に価値がありますが、それだけでなく、社会に対して貢献する、お礼をする等の活動をしていかななくてはいけないと思っています。現在組織として何ができるのか、何が必要かを検討しているところです。今後3年の間に社会貢献の活動の方へ方向転換していきたいと思っています。
- ・ 住宅不足が深刻で、住宅を売りませんかと、毎日、新聞の広告に入ってきます。昔は団地の造成など豊田市が行っていたようですが、将来的な見通しを立てて宅地の造成や市街化区域の見直しを検討してほしいです。

○委員

- ・地域会議は支所とのつながりが強く、支所の職員とのやりとりが大切になりますが、支所長が変わると、検討してきた事案も方向転換することがあります。また、協議する前に支所が方向性を打出して、指示を受けることもあるので、職員と地元との関係性を今一度考えてほしいと思います。

○副会長

- ・ここで、ただいまの意見を踏まえて市長からコメントをお願いします。

○市長

- ・それぞれ違った視点でのご意見でしたので、個別に回答いたします。
- ・色々なイベントに出ることは大切だと思っております、引き続きやっていきたいと思っております。
- ・介護現場の外国人の問題は、雇用の問題が深刻化してきている今、検討すべき課題です。豊田市は長い間外国人問題として保見問題を経験しており、行政として関われるのは言葉の問題で、その後の地域との融合や企業になじめるか等行政ができることは限られていると思っております。今後必ず出てくる問題だと思っておりますので、今後ともご意見をいただきたいと思っております。
- ・自分たちが何ができないかを冷静に分析するには、相当な能力が必要になってきます。外部との意見交換の中でニーズに行政が対応できるかどうかの判断を個別に積み重ねてくのが現実だと思っております。
- ・農福連携を幅広く実施できないかを所管が検討している最中です。近いうちに具体的に実現すると思っております。
- ・エネルギー政策についてですが、EUが先行して実施している首長誓約は、その日本版を名古屋大学が中心に始めようとしております。豊田市がその他西三河に声をかけて手を挙げた5市と誓約をしました。再生可能エネルギーを積極的に使用する、CO2削減、温暖化適応が取組内容となっております。
- ・市内で区画整理事業が進んでおりまして、平成30年度の半ばにすべての効果がでる予想となっております。2年近く前に住宅建築に関する規制緩和を行い、民間が動きやすい状態にしております。中山間地の宅地も公共用地を使用して宅地にする検討も同時に進めています。ただ、宅地の値段が高いのが問題となっているのですが、個人の財産に税金を投入することができませんので、難しい課題となっております。
- ・将来不安が根源で結婚を選択しないのではないかと考えています。子どもを育てながら高齢者を介護するという環境の中で安心して結婚できるのでしょうか。その問題を解決するために親が産休に入ると子どもが退園になる問題や、保育料の優遇措置の拡大など子育て支援を充実していこうと思っております。また、高齢者の問題は、施設の整備と合わせて在宅の仕組みを整備しています。また、高齢者が自分で楽しみ続ける場所を設けるだけでも高齢者の健康対策になると感じております。地域の中で役を担われていることが多いですが、健康づくりのためにもぜひ、生涯、役をもっていただきたいと思っております。
- ・鞍が池公園に動物愛護センターの設置を加速させたのも、背景には災害時の避難の問題などが関わっています。現在子どもの数よりペットの数が多いそうです。
- ・スマホ・携帯の話は市としても引き続き徹底していきます。
- ・スタジアムの件については、名古屋グランパスは豊田と名古屋の2都で進めるといって

おりまして、豊田市のものを引き上げて名古屋にもっていく話ではありませんので、ご理解ください。

- ・豊田大橋の工事は時期が重なって、塗装と耐震の工事の2件立て続けにありました。耐震工事については、国の耐震基準の変更のために急遽工事をせざるを得なくなりました。また、発注の仕方も地元の企業に分割して発注しているやり方をとりましたので、工事が多かったように感じられたのだと思います。決して間違ったやり方をやっているわけではありませんので、ご理解ください。
- ・福祉センターの交流コーナーについては利用者の声をちゃんと聞いてやっていくようにと職員には伝えてほしいと思います。
- ・豊田市の事業の展開は、区長会や民生委員のグループなど団体経由が多いですが、参加者の制限はかけていないので、いろんなところに出かけて行ってほしいと思います。
- ・豊田市はトヨタ自動車誘致されて以降の歴史が強く、WE LOVE の取組の中でも歴史や文化を掘り起こす取組を地道にやっていきたいと思っています。
- ・ラグビーW杯に向けては、宿泊施設をとっても豊田市内のホテルのビジネス利用は継続されますし、豊田市だけでなく、より広域での効果を連携してやっていくことになろうと思います。とりわけ中山間地は外国人には魅力的ですので、今回のW杯を契機に地域資源の掘り起しを行い、W杯後も継続して観光客を呼び込むようにしていきたいと思っています。
- ・労働者不足で補足しますが、ドボ女（土木女子）や工場のイケメン従業員等でPRしたりと製造業だけでなく、建設業等にも大きな可能性を感じています。建設業は手に職が付きまますし、魅力的な分野だと思っています。
- ・ごみの減量はオイルショックなど社会現象があると追い風になるのですが、現状で市民の環境意識を加速させることはかなり難しい問題です。また、現在渡刈清掃工場は売電で利益がでていますが、廃プラを燃やした方が利益につながるという実の部分もあり、環境問題と実の部分のギャップが難しいのですが、環境問題は大切なことだと思っています。
- ・支所長が変わってご迷惑をおかけしているとなると問題であり、徹底していきたいと思っています。
- ・地域会議の会長の年数は制度の話であり、地元の意見が多いのであれば検討していきます。
- ・高齢者クラブの活動は会長の御尽力にお礼申し上げます。
- ・今いただいたご意見を地域経営戦略プランに盛り込めるようであれば、積極的に取り込んでいきたいと思っています。色々なご意見ありがとうございました。

## 【議事（2）】（仮）第2次地域経営戦略プランの策定について（協議）

### ○副会長

- ・何かご意見あればお願いします。

### ○委員

- ・「2 豊田市役所品質の確立」の中で新しい市民力を高めるためにも全く想像つかなかったテーマをくっつけて市民が参加できるように様々な所属が連携して、新しい価値を創造していくことが必要なのではないでしょうか。

○委員

- ・前回の懇話会の中でご説明いただきましたが、今一度期間の違い等戦略地域経営プランと第8次総合計画との関係性を教えていただけますでしょうか。

○事務局

- ・第8次総合計画はこれからのまちづくりに向けた事業などのハード系の部分です。逆に地域経営戦略プランは事業を進めるに当たってどのように仕事を進めていくかのソフトの部分の計画を示しています。

○委員

- ・ハードの事業は5～10年などの長期スパンで見直しをして、ソフトは3年サイクルの見直しを行っていくということでよいでしょうか。

○事務局

- ・期間が3年と短いですが、第8次総合計画よりも1年早く取り掛かっていきたいと考えておりますので、地域経営戦略プランと第8次総合計画のスタート地点の統一は考えておりません。

○委員

- ・「4-1③女性職員の活躍促進」とありますが、性別を指定せず、もう少し広くとらえた方がよいのではないのでしょうか。

○事務局

- ・女性に限らない内容での検討もしていきたいと思えます。

○副会長

- ・市が何をやるかだけでなく、「私」は市に対して何ができるかを考えると変わってくると思えます。先ほどの話に上がっていました高齢者の集まりについても、自分たちで活動していく中で、不足している部分を少し行政に補ってもらおうという考え方がよいのではないのでしょうか。

○委員

- ・「4-1 職員力・組織力の向上」に関連して、最近パワハラ等の報道がありましたが、まだ市役所の中にも男女共同参画が浸透していないと感じる場面があります。性別に関係なく相手を認めることであったり、男女共同参画とは何かをもう少し職員が理解していただけるといいと思えます。

○事務局

- ・職場研修の中にも「男女共同参画」を学ぶ機会があり、そういったところで今後も充実させていきたいと思えます。

○委員

- ・「2-1 市民サービスの質的向上」の中で「生活困窮者の自立支援方策の実施」が「①

市民ニーズの的確な把握・対応」に位置付けられているのに違和感があります。生活困窮者を市からのサービスを受ける側であると決めつけない方がよいと思います。

○事務局

- ・配置は再度検討していきます。

○委員

- ・「2-1② マイナンバーの制度に係る個人番号カードの利活用策の検討」とあるのですが、すでに思い描いているサービスはあるのでしょうか。

○事務局

- ・現状想定しているのは、図書カードであったり、エコポイントカード等での活用を検討しています。しかし、ICチップを使ったカードに置き換えた時に、逆に不便になってしまう面もあります。今後そういったことも踏まえて、個人番号カードがどんなことに活用できるのか引き続き検討していきます。なお、来年10月からコンビニでの住民票等の発行ができるように準備を進めております。

○委員

- ・「3-1①西三河地域での温室効果ガス削減及びエネルギーの地産地消」は今後誓約自治体数が増えていく見込みなののでしょうか。

○事務局

- ・その予定です。

○委員

- ・行動計画に対する目標設定が非常に難しいと思いますが、なるべく目的に到達できる指標の設定をお願いしたいと思います。今後目標は冊子に掲載されていくのでしょうか。

○事務局

- ・今後図書にしていく際に、現在の内容からもう少し細かい目標等記載をしていく予定でおります。
- ・全体に修正箇所がありますので、整理を続けていく予定です。3月の策定までに時間がありますので、お気づきの点があればご意見をお待ちしています。

【議事(3)】「WE LOVE とよた」の取組の条例化について(協議)

○副会長

- ・何かご意見あればお願いします。

○委員

- ・戦略プランの中にも取り上げられている「とよた大好きっ子カリキュラム」についてはどのように考えていますか。



○事務局

- ・子どもたちへの働きかけは非常に重要なことであると感じています。主導は教育委員会ですが、今後も充実を図ってもらえるようお願いしていきたいと思っています。

○委員

- ・今までも WE LOVE とよたの事業をやっていると思いますが、今回条例化することで新たに何ができるようになりますか。

○事務局

- ・市としての WE LOVE とよたの狙いを明確にすることによって、市と市民が共通の価値観をもって、豊田市の魅力アップにつなげていきたいと考えています。具体的には、ラグビーW杯に向けてどうプロモーションしていくかにもつながっていくことになると思います。

○委員

- ・価値観を確定するための条例なのか、長期的に WELOVE とよたを軸にして様々な事業に取り組む基盤となり、横の連携が取りやすくなる条例なのかどちらでしょうか。必要とされているのは後者であると理解すると、この条例の方向性もはっきりすると思いますし、条例制定の必要性への説得力も出てくると思います。

○事務局

- ・まさにそのとおりで、WE LOVE とよたと言いながら、いろんな WE LOVE があっていいと思っております。固定観念で言うつもりはありません。今後改めて必要性を整理していきます。

○委員

- ・歴史的なお祭りなどと絡めて、郷土の歴史的なものが含まれていくといいのではないのでしょうか。

○事務局

- ・ご指摘のとおり、文化・芸術・スポーツに並んで歴史も大切にしていきたいと思っています。

○委員

- ・我々の地域も独自に WE LOVE とよたに取り組んでいる最中で、条例で定義づけされると取組がしにくくなる懸念をしております。ポスターに書いてある定義・取組で十分なのではないでしょうか。第8次総合計画の住民懇談会や地域カルテでは歴史文化を大切にする等の同じような言葉が繰り返し出てきておりますので、改めて細かい規定にしない方がいいと思います。

○事務局

- ・これからも独自で進めていただきたいですし、市としても他に広がるように軸となるものを作りたいと思っています。

- ・改めて内容を検討し、ご意見をいただきたいと思っていますので、よろしくお願ひします。

○副会長

- ・熱心にご審議いただきましてありがとうございました。